



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリー：変化をもたらす

●会長 白木 誠一
●幹事 古田 哲朗

No.1606 平成 30 年 03 月 14 日 第 33 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

■点鐘

■国家斉唱

■ロータリーソング「我等の生業」

■来訪者紹介

(会長 白木誠一)

熊本東南 R A C 東田真美 君、池田郁子 君、平山さな枝 君
米山奨学生 翁力棟 君

■米山奨学生へ奨学金の授与

米山奨学生 翁力棟 君



■会長の時間

(会長 白木誠一)

春の訪れの東大寺



古都、奈良に春の訪れを告げる東大寺の伝統行事「お水取り」で、「籠松明」と呼ばれる大きな松明がたかれ、夜空に真っ赤な火の粉が舞いました。「お水取り」の名で知られる東大寺の二月堂の「修二会」(しゅうにえ)は、「練行衆」と呼ばれる僧侶たちが国の安泰を願って修行をする行事で、奈良時代から続いています。今月 1 日から毎晩、二月堂の舞台上で松明を振って火の粉を散らす、「お松明」が行われていて、12 日夜は、長さ 8M、重さ 60Kg の「籠松明」と呼ばれる大きなたいまつが焚かれました。松明の明かりで、僧侶が石段を登って二月堂に入るたびに、舞台の欄干から真っ赤に燃えさかる大きな松明を突き出したり、回転させたりして火の子を散らしました。この火の粉を浴びると健康に過ごせると言われています。

例年、3 月 1 日から 14 日まで本行が行われ、終わるころには冬が明けていることから、春を告げる行事ともいわれます。奈良時代から続く伝統行事で、752 年以来、途絶えたことがなく続いているそうです。

お水取りは、東大寺を開山した良弁(ろうべん)の高弟、実忠が

始めたとされています。旧暦の時代は 2 月 1 日から実施されていたため、二月に修する法会「修二会」と名付けられました。二月堂の名もこれに由来しています。

人々に代わって罪を懺悔し、天下泰平や五穀豊穡を祈るこの大規模な行事は、まず行を執り行う 11 人の「練行衆を決め、良弁の命日である 12 月 16 日に練行衆の発表があると、練行衆は泊まりこみで本行の準備に当たります。そして 3 月 1 日、練行衆は行列を組んで二月堂へ向かい、本行が開始されます。本行中、練行衆は毎夜高さ約 6 メートルの巨大松明(たいまつ)に火をともし、二月堂へ入り深夜まで祈りをささげます。

練行衆がお堂入りしたあと、燃えさかる松明は舞台の欄干に掲げられるが、これがお水取りの中で最も有名な「おたいまつ」と呼ばれる場面です。降り落ちる火の粉が無病息災をもたらすと言われていることから、たくさんの参拝客が集まり、本行のクライマックスは 12 日深夜です。

籠松明(かごたいまつ)がたかれ、練行衆は祈りの合間に、二月堂下にある若狭井(わかさい)に水をくみにいく。これがいわゆるお水取りの儀式由来です。くみあげた水は「香水」と呼ばれ、本尊である十一面観音に供えられる。

奈良は日本の夜明けであり、文化、政治、仏教の始まりです。聖徳太子(うまやどのみこ)が遣随使から中国の孔子の儒学から影響を受け道徳、文化、政治学を学び憲法制定したものです。707 年には都市計画された都市として平城京が出来上がり、その中に 752 年の東大寺の建築でした。日本の夜明けとして、日本の中心の始まりとして、仏教の始まりとして、奈良を大きく保全していくべきだと思います。又その意識も大切にしていきたいと思っています。

■幹事報告(幹事 古田哲朗)



1) 永田壮一ガバナー、坂口滋一 米山奨学部門長、土谷社司 米山資金推進委員長より、米山記念奨学会 普通寄付・特別寄付についてお礼とお願い。

2) 第 9 回定例理事会報告。

今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2018年 3月16日(金)・17日(土)	地区大会	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル・熊本市民会館	案内済み(2/5締め切り)
3月31日(土)	熊本城東RC創立30周年記念式典	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	全員登録
4月8日(日)	地区研修・協議会	大分県大分市	ホルトホール大分	次年度委員長
4月15日(日)	ディスカッションリーダー(DL)スキルUPセミナー	熊本県熊本市	熊本県民交流館パレア	案内中
5月19日(土)	会長/ミニ研修セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	2019～2020年度会長

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 鈴木義親)



2018 - 2019. 国際ロータリー会長バリー・ラシン氏のテーマ
「インスピレーションになろう！」

次年度(2018-2019)の地区委員に対する研修セミナーが昨年12月より始まり、今年1月には国際協議会がアメリカ(サンチェゴ)で開催されました。

これには日本34地区ガバナーが出席され、次期RI会長の基本方針、方向性が示されました。

本年3月10日、11日には会長エレクト地区研修会が開催されております。

又、4月8日にはクラブ委員長を対象とした地区研修協議会が大分で開かれ、次期ガバナーの方針、クラブの、そしてクラブ委員長としての取り組み方について研修会が実施されます。

3月28日にはクラブ例会において次期会長の(PET)報告、4月25日の例会では地区研修協議会の報告が予定されております。

次年度に対する準備が地区、そして各クラブにおいて動き始めました。

当クラブにおきましても次期役員、委員会名簿の作成、確定発表が急がれます。

(7月1日の新年度に向けて)

※ 詳細については「ロータリーの友3月号」を参照頂きたく存じます。

(コメントにつきましては差し控えて頂きます)

■委員会報告

(地区副幹事 小畑成司)



地区地区大会の役割の件 報告

■委員会報告

(会長エレクト 白石繁)



P E T S (会長エレクト研修セミナー) 報告
マイロータリー登録の件

■委員会報告

(次年度幹事 村瀬直久)



地区研修・協議会への出席のお願い

■出席報告

(出席・プログラム担当委員 河岸彦治)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
02月28日	44 (免3) 41	25	2	27	61.36
03月04日	44 (免4) 40	26			65.00

出席免除

02月28日 住江正治 鷺山法雲 島村徹男
03月14日 住江正治 鷺山法雲 島村徹男 古庄浩二

欠席者(13名)

02月28日 内田敏視 山本浩之 渡邊一弘
西村陽介 益田敬二郎 小松野正彦
山本修三 山坂哲生 潮谷愛一
井村宣敏 河岸彦治 岡本千代門
堤 勝也

今度の100%出席の日は 03月28日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 横山佳之)



◎潮谷愛一 5,000円

孫(女子)が早稲田大学院数学専攻に合格しましたので。

◎宮川義行 5,000 円

職場訪問お疲れ様でした。昼食に「紅葉」の美味しい蕎麦と、熊本の環境を守っている環境センター見学でした。大勢の参加ありがとうございました。本日はアクトの東田真美さん、池田郁子さん、平山さな枝さん、ご来訪ありがとうございます。卓話楽しみにしています。3月27日の例会には出席しますのでよろしくお願ひします。翁君もご苦労様。

◎古田哲朗 2,000 円

結婚記念日の花ありがとうございました。8年になりました。スイートテンまであと2年です。

◎内田信行 2,000 円

本日の例会欠席いたします。歓迎会には出席いたします。地区大会の登録をしたつもりでいましたが申し込みできていませんでした。お詫びのスマイルです。

■卓話

(ローターアクトクラブ卓話 (熊本東南ローターアクトクラブ))



熊本東南ローターアクトクラブ今期会長の東田真美です。

初めての卓話で、お聞き苦しい点もあるかと思いますが、最後まで聞いて頂けると嬉しいです。

1つ目に、ローターアクトについての説明

2つ目に、熊本東南ローターアクトクラブの活動報告

3つ目に、ローターアクトクラブに入ってから私の感想

この順番で、お話させていただきます。

五大奉仕の一つの青少年奉仕部門は、みなさんご存知でしょうか？

4つの奉仕活動があります。

インターアクト・青少年交換・ライラ最後の一つは何でしょうか？

そう、ローターアクトです！

いろいろ書いておりますが要約すると個々の成長や、次世代のリーダーの育成が目的です。

全世界でのクラブ数は、10,904 クラブあります。人数は250,792 名です。

日本全国のクラブ数は2015年基準ですが、約3,300名、おおよそ300クラブです。

その中で2720地区では、熊本のクラブが9つあり、大分には6つのクラブがあります。現段階での人数は熊本83名、大分57名、計140名です。

次に、今期の地区役員を紹介いたします。

2720地区を統括しているローターアクト代表、そのサポートとして地区ローターアクト直前代表、地区ローターアクト代表エレクトがあり、幹事、会計、熊本グループリーダー、大分グループリーダー、広報、熊本グループの環境委員長、大分グループの環境委員長で構成されております。

組織図は提唱ロータリーのローターアクト委員長、熊本東南ローターアクトクラブだと松本一也さんがここに入ります。会長、幹事、会計があり、構成はクラブごとに様々です。その下にこれだけの委



員があります。

例会のルールについてですが、月2回以上行うこと以外ロータリーとルールに変わりありません。ロータリーが年間通算の出席率50%以上であることにに対しローターアクトは、年間で60%以上出席であることくらいだと思います。活動報告に移ります。

1年を通して行う行事は、以上の項目があります。2720地区独自の行事が、この5つです。この他にも年度によって様々な行事があります。

新人研修会は、基本的なローターアクトの知識や、ロータリーについて、関係性を学びます。

年次大会は、ロータリーの地区大会と同様です。

留学生交流会は、この時は熊本東南ローターアクトクラブがホストクラブとして、そば打ちをしました。

ライラは、ロータリー青少年指導者養成プログラムといって、インターアクトやローターアクトのリーダーシップ能力を高める目的もあります。アクト以外にも一般から参加される方もいます。地区研修会は、次年度の役員の引き継ぎや、注意事項を勉強する場です。

1年を締めくくる最後の行事です。同時に30歳を迎えた会員の卒業式を行います。

今期の熊本東南ローターアクトクラブが行った例会を2つご報告いたします。

まず、警察官講話例会です。たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。警察官の方を講師に招き、お話しして頂いた後、班に分かれて3つの質問を考えて、実際に前に代表者が出て質問し、答えてもらいました。

もう1つが江津湖公園清掃例会です。江津湖公園で水草清掃のイベントをする際に、草が邪魔で水草が除去できないという話を伺い、草刈りをすることにしました。みなさんのおかげで綺麗にすることができ、川の中に鳥が来たり、子供が川に入っている姿を見て、やって良かったと思いました。

今回やってみて、改善するところがありましたので、それを改善していき、来年は、もっといいものにしていきたいと思います。私がローターアクトに入った経緯は、2年前の留学生交流会の準備のお手伝いとして池田に連れてこられたのが、始まりでした。そのまま、当日も福永さんとともにお手伝いをしてその後に入会しました。

次年度で、右も左も分からないまま会計をして、今期で会長をさせていただいています。先日は、みなさんと一緒に台湾の板橋南区ロータリークラブの30周年記念式典に、池田とともに参加させていただきました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

普通に生活していたら、出来ない貴重な体験でした。着いてすぐのウェルカムパーティーで、置いてある飲み物がウィスキーのストレートと、紹興酒と謎のジュースで全部飲んだことないもので、驚きました。

コンサートに招待していただき、普段だと聞くことが難しいオーケストラの演奏を生で聴けて、とても感動しました。指揮者が女性の方で、とても可愛らしい方だったのですが、指揮をする姿がすごくかっこよかったです。

二日目の夜市に行く途中にお金持ちになる寺がありました。ばっちり写真を撮ったので、待ち受けにしたいと思います。3日間たくさんの方を見て食べて、式典に参加してとても楽しかった



です。これもローターアクトに入らなかったらできなかったことなので、入って良かったと思います。

今、熊本東南ローターアクトクラブは5名で活動しています。全員同年代であと2年で卒業してしまいます。年下を入れることが難しいので、みなさんのご協力をお願いします！

最後になりますが、来年の35周年記念式典の際には、お手伝いさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

これで卓話を終了いたします。ご静聴ありがとうございました。



■点鐘

編集者 村瀬直久

変化をもたらすロータリー女性会員を表彰

世界銀行と国際ロータリーが「国際女性デー」のイベントを開催
記事：Ryan Hyland

革新的な人道プロジェクトを実施し、人びとの生活に変化をもたらしてきた3人のロータリー女性会員が3月7日、ワシントンD.C.の世界銀行で行われた国際女性デーにちなんだイベントで表彰されました。

世界銀行グループスタッフ協会が主催、国際ロータリーと投資会社のオープンハイマーが協賛するこのイベントは、3月8日の国際女性デーにあわせ、今週予定されている多くのイベントの一つです。イベントの様子はライブ中継され、世界中で人道奉仕の分野で活躍する女性たちがいかに世界に変化をもたらしているかを紹介しました。世界銀行南アジア副局長のアネット・ディクソンさんがイベントのモデレーターを務めました。



300人以上が参加し、何千人もがライブ中継を視聴したこのイベントで、ロータリー会員のギータ・ジャヤラムさん、マリー・イレーネ・リッチモンド・アホアさん、ダニエル・デ・ラ・フエンテさん（い

ずれもロータリアン）がそれぞれのストーリーを紹介。ジャヤラムさんはインドの貧しい女性にメンタルヘルスのサービスを提供、アホアさんは西アフリカでのポリオ撲滅活動に尽力、フエンテさんは世界の難民児童のエンパワメントに取り組んでいます。

ロータリー世界人道奉仕賞の受賞者でもあり、ハワードウェスト・ロータリークラブ（米国メリーランド州）会員のジャヤラムさんは、自身が設立したメンタルヘルス・クリニック「マナシ・クリニック」について話し、南インドの200以上の村に住む貧しい人びとと約2,000人（ほとんどが女性）に総合的なケアを提供していると語りました。

ジャヤラムさんが設立したこのクリニックは、発展途上国におけるメンタルヘルスの向上に寄与しており、世界保健機関からも認められています。クリニックではまた、視力、聴力、老年にとも

なう問題に対する治療や職業リハビリも実施しています。2002年の創設以来、約600万世帯がこのクリニックを利用してきました。

「女性たちは私を家に迎え入れ、自分たちのストーリーを語ってくれるのです。このような女性たちに感謝されることで、私自身も大きなやりがいを感じています」とジャヤラムさん。「これこそ、私たちにとって大きな贈り物です」

ジャヤラムさんは、ジョンズ・ホプキンス大学（米国メリーランド州ボルチモア）医学部の精神科・行動科学の准教授です。

アビジャン・ビエトリー・ロータリークラブ（コートジボアール）会員のマリー・イレーネ・リッチモンド・アホアさんは、コートジボアールのポリオプラス委員長を務め、現在は、西アフリカにおける予防接種活動の調整を担当しています。国際コミュニケーションのコンサルタントとして、コートジボアールでの国連の取り組みにおいてアドバイザーを務めた経験もあります。



アホアさんはまた、2017年ロータリー国際大会で、ビル・ゲイツ氏によりそのポリオ撲滅と平和への献身が称えられました。

「ボランティア活動は私に幸せをもたらしたと同時に、涙を流したこともあります。違った視点から世界を見ることができるようになりました」とアホアさんは語りました。「どんな困難が立ちまはるかろうと、自分たちが実施する活動を信じ、適材適所を実践して、チームを信頼しなければなりません。そうすることで、他者の立場に立って物事を見ることができ、より多くを達成できるのです」

最後にアホアさんはこう付け加えました。「私にとってのご褒美、それは子どもが予防接種を受けた後の母親の笑顔です」

コ罗纳ド・バイナシオナル・ロータリークラブ（米国カリフォルニア州）会員のダニエル・デ・ラ・フエンテさんは、アマル・アラリアンスの共同創設者です。この非政府団体は、社会開発・教育プログラムを通じて世界中の難民児童を支援しています。

フエンテさんは、世界で6500万人がやむなく住む場所を追われており、その77%が子どもであると紹介しました。「子どもが夢を持つことができない世界を想像してみてください」とフエンテさん。「私はそんな世界を受け入れることはできません」

ワシントンD.C.にある国防大学に勤務したこともあるフエンテさんは同大学で、中東と南アジアの関係向上のために尽力しました。

「人の思いやりが今まさに必要とされています」とフエンテさん。「次世代が夢を持つことができない世界など、未来とは呼べません。行動し、変化をもたらしてください。私にとってはそれが、難民児童の生活を改善していくという活動なのです」